

<真剣味>③③

2015.10.7

天気が良いので久しぶりに自転車で五泉市内を回ってみました。今年は夏の天候が不安定だったためか未だ稲刈りが済んでないところがありました。少しビックリです。以前教員をしている時には、「稲刈り」が目安になって、クラスの生徒には学習のスイッチが入るよう指導していました。でもまだまだ学習が手につかない生徒にはこれからでも遅くないからといいながら、公立高校であれば約半年間、やれることから頑張らせていました。自分で通いたい学校に行くためには、「自分で選べる状況を作る」必要がある。だから中学3年生は今からでも努力する必要があるのです。やるしかない。

新人戦を終えて

9月27日（日）、川口運動公園野球場の第二試合で柏崎チームと対戦し、3対0で敗れました。前回の<真剣味>③②では「全体的にレベルアップさえしていけば何とか戦えるチームになりそうな気持ちになりました。これからの練習試合を通して試合に慣れ、場面に応じた対応ができるようにしていきたい。これからが楽しみです。まずは新人大会で爆発したい。」と書きました。9月の練習試合では1勝4敗1分け、そして大差になるケースが多く、どのような形で試合に臨めば良いか少し不安でした。

試合当日スムーズに試合に入るためには、「ウォーミング・アップでの流れ・スムーズな準備力」が必要になってくる。そのためには、チームリーダーの指示、フォロワーの気付きが大切になってくる。しかしこの日もコーチから指導を受けていた。でも、この日は投手を中心とした守りがそれまでになく機能し、初回からチャンスを作られても得点につながらず江南シニアとしては良い流れを作ることができました。また、攻撃面では得点することはできませんでしたが、チャンスは3回作ることができ、それをビッグ・イニングにすることができず、攻撃の甘さが反省として残りました。また、相手の攻撃はセンターから逆方向を狙っていたのに、バッテリーに対しその点での指示が出せなかったことが監督としては反省するところです。8月以降の試合（練習）内容を考えれば、今回の試合は選手がよくやったと思います。でもまだまだやることは沢山あります。

これから ～元気・スピード～

- リーダーを中心として練習に前向き、そして厳しく。（指示・気付き）
- 投手—フォームの安定・コントロールの安定・心の充実。
- 守備—ボールへの対応力・スローイング（リリース）の安定、スタートの速さ・飛球への対応・キャッチからスローまでの流れの安定
- 打撃—強いスイング・ストライクをヒットする。
- 走塁—きれいなフォームで常に全力疾走・常に次の塁に挑戦する
- 体力の向上（長・短を走る）、からだ作り（トレーニング・食事）に努める。

合宿を終えて

9月中旬三川の合宿では他団体の吹奏楽部の女子高校生が同宿しており、ビックリしたことが2つあります。①合宿でも自主学習をしている。②洗面所に自分たちの髪の毛がたくさん落ちていても、片付けられていなかったこと。私には分からない部分です、髪がないので・・・。